

2016年度第2四半期（2016年4月～6月）連結決算短信

会 社 名	アフラック・インコーポレーテッド (Aflac Incorporated)
株式銘柄コード	8686
本店所在地	アメリカ合衆国ジョージア州コロンバス ウイントン・ロード1932
所 属 部	東証第一部
決 算 期	本決算： 年1回（12月） 中間決算： 四半期毎
問 合 せ 先	長島・大野・常松法律事務所（Tel：03-6889-7000） 弁護士 門 田 正 行

1. 本国における決算発表日： 2016年7月28日（木曜日）

2. 業 績

	第2四半期（4月～6月の3ヶ月間）			累計額（1月～6月の6ヶ月間）		
	当期	前年同期	増減率	当期	前年同期	増減率
収益合計	百万ドル 5,437	百万ドル 5,287	% 2.8	百万ドル 10,888	百万ドル 10,513	% 3.6
税引前当期純利益	百万ドル 834	百万ドル 874	% -4.7	百万ドル 1,951	百万ドル 1,887	% 3.4
当期純利益	百万ドル 548	百万ドル 573	% -4.3	百万ドル 1,279	百万ドル 1,236	% 3.5
基本1株当たり 当期純利益	ドル 1.33	ドル 1.33	% -	ドル 3.08	ドル 2.84	% 8.5
希薄化後1株当たり 当期純利益	ドル 1.32	ドル 1.32	% -	ドル 3.06	ドル 2.83	% 8.1

配当金の推移		
	当年度（2016年度）	前年度（2015年度）
第1四半期	0.41 ドル	0.39 ドル
第2四半期	0.41	0.39
第3四半期		0.39
第4四半期		0.41
合計	0.82 ドル	1.58 ドル

(注) 原則として各四半期に決定された配当金である。

3. 概況・特記事項・その他

特になし



会社名:アフラック・インコーポレーテッド
株式銘柄コード:8686
問い合わせ先:アフラック日本社 IR サポート室
堀江純一郎 (Tel:03-3344-0481)

Aflac Incorporated は2016年度第2四半期の業績を発表
2016年度の1株当たり事業利益及び販売の見通しを確認
2016年度第3四半期現金配当を宣言

ジョージア州、コロンバス - 2016年7月28日

Aflac Incorporated (以下、「当社」)は本日、2016年度第2四半期の業績を以下のとおり発表しました。

当四半期の収益合計は、円高ドル安を反映し、前年同期の53億ドルから2.8%増加し、54億ドルとなりました。当期純利益は、前年同期の5億7,300万ドル(希薄化後1株当たり1.32ドル)から5億4,800万ドル(同1.32ドル)となりました。

有価証券取引及び減損による税引後資産運用実現損益については、前年同期の当期純利益には6,000万ドル(実現損とのネット。希薄化後1株当たり0.14ドル)の実現益が含まれていたのに対し、当四半期の当期純利益には、1,300万ドル(実現益とのネット。希薄化後1株当たり0.03ドル)の実現損が含まれていました。当四半期の日本社の一部のドル建て投資に関連するヘッジ費用は、税引後ベースで3,100万ドル(希薄化後1株当たり0.08ドル)でした。当四半期のその他のデリバティブ及びヘッジ活動による税引後資産運用実現損(実現益とのネット)は9,100万ドル(希薄化後1株当たり0.22ドル)でした。これらに加えて、当期純利益には、その他及び非経常的損

益からの2,400万ドル(希薄化後1株当たり0.06ドル)の税引後損失が含まれていました。

当社は、当社事業に収益をもたらす諸要素について理解するために、事業利益(米国会計基準 GAAP 外の指標)の分析が極めて重要であると考えています。事業利益とは、有価証券取引、減損、デリバティブ及びヘッジ活動から生じた資産運用実現損益ならびにその他及び非経常的損益を除外し、社債等に関連した支払金利を含む、当社事業から得られる利益です。当社のデリバティブ活動は、主として当社の運用ポートフォリオに係る為替リスク及び金利リスクをヘッジすることを目的としたものであるとともに、一部の社債に係る為替リスク及び将来の円建ての予測キャッシュフローに係る為替リスクを管理することを目的としています。有価証券取引、減損、デリバティブ及びヘッジ活動から生じる資産運用実現損益ならびにその他及び非経常的損益は、全般的な経済情勢など外部環境が大きく影響すること、あるいは当社の保険事業に直接関係しない数少ない取引に関連するものであることから、当社保険事業の基盤や傾向を必ずしも正確に反映していないため、当社では、保険事業の財務業績を評価するにあたっては事業利益を用いています。これらの調整項目が予測不能で制御不能な性質を有していることから、当社は将来の事業利益目標については、米国会計基準 GAAP と同様の計算をしておりません。

さらに、アフラックの事業全体に占める日本社の割合が非常に大きいため、日本の機能通貨である円から米ドルへの換算が事業利益に与える影響を理解することも同様に重要であると考えています。当社は、日本社の損益計算書の作成にあたっては、当該期間の平均円/ドル為替レートを、また貸借対照表の作成にあたっては、期末の円/ドル為替レートを、それぞれ使用していますが、利益送金、再々保険取引の決済及び日本社のドル建て投資プログラム等を除いて、実際に円貨をドル貨に換金することはありません。したがって、当社は、外貨の換算は、当社や株主に対して実際に経済的な意味を持つものというより、むしろ財務諸表作成の目的に利用するものと考えています。また、為替変動によっては当社事業の成長率が歪められてしまうため、当社は、財務諸表を使って当社事業を評価する場合、為替変動の影響を除外した財務業績も評価すべきであると考えています。本リリースの最後に、為替変動の影響を

含めた場合とそれを除外した場合の主な業績数値の比較表を、その影響を示すために掲載していますので、ご参照ください。

当四半期の平均円／ドル為替レートは、前年同期の121.20円から11.9%円高ドル安の108.28円となりました。また、本年度上半期の平均円／ドル為替レートは、前年同期の120.14円から7.4%円高ドル安の111.82円となりました。日本社の当四半期及び本年度上半期のドルベースでの成長率は、円高ドル安により押し上げられました。

当四半期の事業利益は、前年同期の6億5,100万ドルから、7億700万ドルとなりました。当四半期の希薄化後1株当たり事業利益は、前年同期に比べて14.0%増加し、1.71ドルとなりました。為替レートが円高ドル安に推移したことで、当四半期の希薄化後1株当たり事業利益は、0.09ドル増加しました。円高ドル安の影響を除いた希薄化後1株当たり事業利益は、8.0%増加しました。

本年度上半期の業績も、円高ドル安により押し上げられました。収益合計は前年同期の105億ドルから3.6%増加し109億ドルとなりました。当期純利益は前年同期の12億ドルから13億ドルに、希薄化後1株当たり当期純利益は2.83ドルから3.06ドルとなりました。一方、本年度上半期の事業利益は、前年同期の13億ドルから14億ドルに、希薄化後1株当たり事業利益は前年同期の3.04ドルから3.44ドルとなりました。円高ドル安による、希薄化後1株当たりのプラスの影響0.12ドルを除くと、本年度上半期の希薄化後1株当たり事業利益は9.2%増加しました。

運用資産及び現金・預金合計は、2016年3月31日現在の1,143億ドルから2016年6月30日現在では1,260億ドルとなりました。

当四半期、当社は4億ドル相当(590万株)の自己株式を取得しました。本年度上半期、当社は10億ドル相当(1,600万株)の自己株式を取得しました。2016年6月30日現在、当社の自己株式取得承認枠は、3,230万株となっています。

株主持分は、2016年3月31日現在が200億ドル(1株当たり48.22ドル)であったの

に対し、2016年6月30日現在では226億ドル(1株当たり54.98ドル)でした。株主持分に含まれる保有有価証券及びデリバティブに係る未実現益(ネット)は、2016年3月31日現在が47億ドルであったのに対して、2016年6月30日現在では64億ドルでした。当四半期における平均株主持分に対する利益率は、年率換算で10.3%でした。事業ベース(当期純利益に含まれる資産運用実現損益(ネット)及び株主持分に含まれる運用資産及びデリバティブに係る未実現損益を除く)で見ると、当四半期における平均株主持分に対する利益率は、年率換算で18.0%(事業利益に対する円高の影響を除くと15.5%)でした。

日本社

当四半期、円ベースで見ると、保険料収入は1.8%増加しました。投資収益(ネット)は5.4%減少しました。当四半期の日本社の投資収益は、ドルから円への換算において、円高ドル安の影響により圧迫されました。当四半期の日本社の収益合計は、前年同期比0.7%増加しました。当四半期の税引前事業利益率は、前年同期の21.1%から20.7%に低下しました。円ベースの税引前事業利益は、報告ベースでは前年同期比1.0%減少しましたが、為替変動の影響を除けば、3.0%増加しました。一方、本年度上半期の円ベースの保険料収入は1.0%の増加、投資収益(ネット)は3.6%の減少、収益合計は0.2%の増加、税引前事業利益は0.9%の減少でした。

当四半期の日本社のドルベースでの成長率は、著しい円高ドル安の影響により、押し上げられました。当四半期の保険料収入は14.3%増加し、34億ドルとなりました。投資収益(ネット)は6.1%増加し6億4,200万ドルとなりました。収益合計は12.9%増加し、41億ドルに、税引前事業利益は10.8%増加し8億3,900万ドルとなりました。本年度上半期の保険料収入は前年同期比8.7%増加し、66億ドルとなりました。投資収益(ネット)は3.8%増加し13億ドルとなりました。収益合計は7.9%増加し79億ドルに、税引前事業利益は6.4%増加し、17億ドルとなりました。

当四半期の新契約年換算保険料は1.1%減の303億円(2億8,000万ドル)となりました。当四半期のがん保険と医療保険を含む第三分野商品の販売は、11.2%増加し

ました。当四半期の WAYS と学資保険を含む第一分野商品の販売は、24.7%減少しました。

本年度上半期の新契約年換算保険料は6.7%増加して614億円(5億5,100万ドル)となりました。本年度上半期、第三分野商品の販売は、6.4%増加しました。

米国社

当四半期の米国社の保険料収入は 2.2%増加し、14 億ドルとなりました。投資収益(ネット)は4.4%増加して1億7,600万ドルとなりました。収益合計は2.5%増の15億ドルとなりました。当四半期の税引前事業利益率は、前年同期の19.5%から19.0%となりました。税引前事業利益は、前年同期比0.3%減の2億9,100万ドルとなりました。本年度上半期の収益合計は2.4%増の31億ドルに、保険料収入は2.2%増の27億ドルとなりました。投資収益(ネット)は4.7%増加して3億5,000万ドルとなりました。税引前事業利益は、前年同期比8.0%増の6億2,300万ドルとなりました。

当四半期の米国社の新契約年換算保険料合計は1.0%増加し、3億4,700万ドルとなりました。本年度上半期の販売は2.3%増加して6億7,500万ドルとなりました。

現金配当

取締役会は、2016年度第3四半期支払いの四半期現金配当を1株当たり0.41ドルとすることを発表しました。この現金配当は、2016年8月24日の営業時間終了時点の登録株主に対し、2016年9月1日に支払われます。

今後の見通し

当四半期の当社の業績について、当社会長兼最高経営責任者であるダニエル・P・エイモスは次のように述べています。

「当四半期の日米両国における当社の財務業績が堅調な推移を示し、当社の 2016 年度の目標達成に向けて前進したことを喜ばしく思っています。」

「日本社においては、当四半期に第三分野商品の販売が 11.2%増加したのは特筆すべきことです。日本におけるマイナス金利環境を認識し、第一分野商品の販売を抑制するために当四半期にわたって実行された施策により、第一分野商品の販売が 24.7%減少したことを心強く思っています。さらに追加の施策を継続実施しますので、本年度下半期の第一分野商品の販売は最低でも 50%の大幅な減少を見込んでいます。2016 年通年では、第三分野商品の販売が 3%減から 2%増の間の成長となるものと、当社は引き続き予想しています。繰り返しになりますが、第三分野商品販売の長期の複利成長年率は、4%から 6%の間となるものと確信しています。」

「当四半期及び上半期において、財務業績の面で米国社は堅調な実績を挙げました。当四半期の販売は、期待値を下回るものでしたが、米国社の通年の販売目標の達成に向けて、当社は第 4 四半期の販売により多くを依存していることを思い起こしていただきたいと思えます。当社は、米国社の販売を通年で 3%から 5%増加させることに引き続き注力しています。」

「当社は引き続き、ご契約者のために高い自己資本比率を維持することにコミットしています。当社の強い資本水準は、2016 年暦年の利益送金を 1,200 億円から 1,500 億円の範囲で実行ならしめるものと、当社は確信しています。このことは、上半期に大半が前倒しで実行された、2016 年度における 14 億ドル相当の自己株式取得計画を強化するものです。」

「当年度下半期には、将来の成長に向けた取り組みに注力するため、特に販売促進と IT 関連の支出を増加させる見込みです。当社の年度目標は、2015 年度の平均為替レートである 1ドル 120.99 円の前提の下で、6.17ドルから 6.41ドルの希薄化後 1株当たり事業利益を計上することであることを、ここに重ねて申し上げます。仮に第 3 四半期の期中平均円／ドル為替レートが 1ドル 100 円から 110 円で推移した場合、第 3 四半期の希薄化後 1株当たり事業利益(米国会計基準 GAAP 外の指標)は約

1.58ドルから1.86ドルの間になるものと当社は予想しています。ここで思い起こしていただきたいのは、低金利環境の継続、特に日本におけるマイナス金利の影響は、資産運用にとって引き続き困難な課題となっているということです。こうした状況において、慎重なリスク許容度を保ちつつ、キャッシュ・フローを魅力的な利回りで運用することは困難です。世界で最も優れた二つの保険市場において、当社は良いポジションにあり、ご契約者に対する約束を着実に果たしつつ、1株当たり利益目標達成のため、当社は懸命に努力を重ねています。」

アフラックについて

当社は、ご契約者が病気または怪我をした時に給付金を現金で迅速にお支払いします。60年にわたって、当社の商品は、ご契約者が経済的な負担を抱えずに回復に専念する機会を提供してきました。当社は米国では職域における任意加入保険販売No.1の会社です。先駆的な「ワン・デイ・ペイ」の取り組みにより、米国社は、有効な給付請求の受付、審査手続、承認及び支払いを1営業日で行うことができます。日本では、アフラックは医療保険・がん保険の最大手で、4世帯に1世帯がアフラックの保険に加入しています。当社の個人保険及び団体保険は、世界で5,000万人以上の方々に保障を提供し、お役立ていただいています。『Ethisphere』誌は10年連続で当社を「世界で最も倫理観の高い企業」の1社に選出しています。また、2016年、『フォーチュン』誌は、当社を18年連続で「全米で最も働きがいのある企業100社」に選出するとともに、15回目となる「世界で最も賞賛すべき企業」の1社にも選出、当社を生命保険及び医療保険分野のイノベーション部門において2年連続で第1位にランクしました。2015年、アフラックのコンタクトセンターは、その電話応対チャネルにおいて、J.D.パワー社から「サービスに対する際立った顧客体験」の認定を受けました。Aflac Incorporatedはフォーチュン500社に入っており、ティッカー・シンボルAFLとしてニューヨーク証券取引所に上場しています。当社及び「ワン・デイ・ペイ」に関するさらに詳しい情報は、aflac.com 又は espanol.aflac.com をご覧ください。

当四半期の業績数値の補足資料(FAB Supplement)は、aflac.com「Investors」ページから入手可能です。

当社は、当四半期業績報告の電話会議の様様を 2016 年 7 月 29 日(金曜日)午前 9 時 00 分(米国東部夏時間)に aflac.com 「Investors」ページ上で公開します。

Aflac Incorporated およびその子会社連結損益計算書(抜粋)

(単位:百万ドル。ただし、株式数および1株当たりの数字を除く—無監査)

6月30日に終了した3ヶ月間:

	2016	2015	増減率
収益合計	5,437	5,287	2.8%
保険金給付金	3,254	2,937	10.8%
新契約費及び事業費合計	1,349	1,476	-8.5%
税引前当期純利益	834	874	-4.7%
法人税等	286	301	
当期純利益	548	573	-4.3%
基本1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.33	1.33	-
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.32	1.32	-
1株当たり当期純利益計算に用いた普通株式数(単位:千株)			
基本	411,853	431,672	-4.6%
希薄化後	414,326	434,257	-4.6%
1株当たり現金配当(単位:ドル)	0.41	0.39	5.1%

Aflac Incorporated およびその子会社連結損益計算書(抜粋)

(単位:百万ドル。ただし、株式数および1株当たりの数字を除く—無監査)

6月30日に終了した6ヶ月間:

	2016	2015	増減率
収益合計	10,888	10,513	3.6%
保険金給付金	6,279	5,889	6.6%
新契約費及び事業費合計	2,658	2,737	-2.9%
税引前当期純利益	1,951	1,887	3.4%
法人税等	672	651	
当期純利益	1,279	1,236	3.5%
基本1株当たり当期純利益(単位:ドル)	3.08	2.84	8.5%
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	3.06	2.83	8.1%
1株当たり当期純利益計算に用いた普通株式数(単位:千株)			
基本	415,301	434,473	-4.4%
希薄化後	417,623	437,077	-4.5%
1株当たり現金配当(単位:ドル)	0.82	0.78	5.1%

Aflac Incorporated およびその子会社連結貸借対照表(抜粋)

(単位:百万ドル。ただし、株式数を除く—無監査)

6月30日現在:

	2016	2015	増減率
資産:			
運用資産および現金・預金	125,983	103,280	22.0%
繰延新契約費	9,552	8,278	15.4%
その他の資産	5,752	3,981	44.5%
資産合計	141,287	115,539	22.3%
負債および株主持分:			
保険契約準備金	103,066	84,581	21.9%
社債等	5,009	5,383	-6.9%
その他の負債	10,662	8,557	24.6%
株主持分	22,550	17,018	32.5%
負債および株主持分合計	141,287	115,539	22.3%
期末発行済普通株式数(単位:千株)	410,115	430,617	-4.8%

事業利益と当期純利益の調整

(単位:百万ドル。ただし、1株当たりの数字を除く—無監査)

6月30日に終了した3ヶ月間:

	2016	2015	増減率
事業利益	707	651	8.6%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	-13	60	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-31	-12	
その他のデリバティブおよびヘッジ活動の影響	-91	20	
その他及び非経常的(損)益	-24	-146	
当期純利益	548	573	-4.3%
希薄化後1株当たり事業利益(単位:ドル)	1.71	1.50	14.0%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	-0.03	0.14	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-0.08	-0.03	
その他のデリバティブおよびヘッジ活動の影響	-0.22	0.05	
その他及び非経常的(損)益	-0.06	-0.34	
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.32	1.32	-

*調整項目は35%の税率で計算した税引後

事業利益と当期純利益の調整

(単位:百万ドル。ただし、1株当たりの数字を除く—無監査)

6月30日に終了した6ヶ月間:

	<u>2016</u>	<u>2015</u>	<u>増減率</u>
事業利益	1,433	1,329	7.8%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	37	100	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-60	-21	
その他のデリバティブおよびヘッジ活動の影響	-79	-14	
その他及び非経常的(損)益	-52	-158	
当期純利益	1,279	1,236	3.5%
希薄化後1株当たり事業利益(単位:ドル)	3.44	3.04	13.2%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	0.08	0.23	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-0.14	-0.05	
その他のデリバティブおよびヘッジ活動の影響	-0.19	-0.03	
その他及び非経常的(損)益	-0.13	-0.36	
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	3.06	2.83	8.1%

*調整項目は35%の税率で計算した税引後

為替変動の業績への影響¹
(主要項目の前年同期比増減率—無監査)

2016年6月30日に終了した3ヶ月間:

	為替変動の 影響を含む	為替変動の 影響を除く²
保険料収入	10.5%	2.0%
投資収益(ネット)	5.9%	1.2%
保険金給付金および事業費合計	9.6%	1.1%
事業利益	8.6%	3.1%
希薄化後1株当たり事業利益	14.0%	8.0%

¹数値は本書において定義した事業利益ベースで表示している。

²為替変動の影響を除外した数値は、前年同期と同様の円/ドル為替レートを用いて算出した。

為替変動の業績への影響¹
(主要項目の前年同期比増減率—無監査)

2016年6月30日に終了した6ヶ月間:

	為替変動の 影響を含む	為替変動の 影響を除く²
保険料収入	7.2%	1.8%
投資収益(ネット)	4.1%	1.2%
保険金給付金および事業費合計	5.9%	0.6%
事業利益	7.8%	4.2%
希薄化後1株当たり事業利益	13.2%	9.2%

¹数値は本書において定義した事業利益ベースで表示している。

²為替変動の影響を除外した数値は、前年同期と同様の円/ドル為替レートをを用いて算出した。

2016年度1株当たり事業利益¹予想

<u>円/ドル平均為替レート</u>	<u>1株当たり年間事業利益</u>	<u>対2015年度増加率</u>	<u>為替の影響</u>
100	\$6.85 - \$7.09	11.2% - 15.1%	\$ 0.68
105	\$6.66 - \$6.90	8.1% - 12.0%	\$ 0.49
110	\$6.49 - \$6.73	5.4% - 9.3%	\$ 0.32
115	\$6.34 - \$6.58	2.9% - 6.8%	\$ 0.17
120.99 ²	\$6.17 - \$6.41	0.2% - 4.1%	\$ -
125	\$6.07 - \$6.31	-1.5% - 2.4%	\$ -0.10

¹ 米国会計基準GAAP外の指標

² 実際の2015年度の年間加重平均為替レート

予測情報について

1995年の私的証券訴訟改革法は、企業に対して、いわゆる「安全港」の規定を設けています。規定によれば、その記述が将来予測に関する記述（forward-looking statement）として特定され、将来予測に関する記述に含まれる内容と大きく異なる結果を引き起こす可能性がある重要な要素を記した有意義な警告を伴うならば、自社の見通しに関する情報を積極的に提供するよう奨励しています。当社は、この規定を活用したいと考えています。本書には、将来の見通しと大きく異なる結果を引き起こす可能性がある重要な要素を記した警告を記載しています。こうした将来の見通しは、本書の中、あるいはアナリストと当社役職員との議論、米国証券取引委員会（SEC）に提出された文書の記述に含まれています。

将来予測に関する記述は、過去の情報に基づくものではなく、将来の事業、戦略、財務業績及びその他の進展事項に関するものです。更に、将来予測に関する情報は、さまざまな仮定や、リスク、不確定要素から影響を受けます。特に、「予想する」「予測する」「確信している」「目標」「目的」「可能性がある」「すべきである」「推定する」「意図する」「見積もる」「するつもりである」「仮定する」「潜在的」「対象」、あるいはその他の類似した言葉を含む記述、また将来の結果についての特定の予測は一般に将来予測に関する記述です。当社は、将来予測に関する記述について、最新情報を提供する義務を負いません。

当社が時々言及している事項のほかに、将来予測に関する記述と大きく異なる結果を引き起こす可能性がある事項は以下のとおりです。

- 世界資本市場及び経済の困難な状況
- 金融市場の安定化を目指す政府の行動
- 当社の投資先の債務不履行及び信用格付けの引き下げ
- 重要な金利リスクに対するエクスポージャー

- ・ 日本に対する事業の集中
- ・ 当社の条件に合致する円建て有価証券の限られた入手可能性
- ・ 患者の個人情報及び情報セキュリティに関する規則の遵守の失敗
- ・ 円/ドル為替相場の変動
- ・ 保険料率の設定や責任準備金の算定に用いる仮定と実績の乖離
- ・ 子会社がアフラック・インコーポレーテッドに配当金を支払う能力
- ・ 情報システムの改善・開発を継続する能力
- ・ 特定の単一の発行体又はセクターに対する運用資産の集中
- ・ その他の金融機関の信用力の低下
- ・ 優秀な募集人と社員を引きつけ、維持する能力
- ・ 運用資産の評価に適用される異なる判断
- ・ 運用資産に係る減損金額の決定における重要な評価判断
- ・ アフラック保有の永久証券に関連する信用及びその他のリスク
- ・ 当社の財務力と発行体格付けの引き下げ
- ・ 当社に固有なリスク管理方針及び手続の限界
- ・ 広範囲な規制及び法律又は政府当局による規制の変更
- ・ 電気通信、情報技術及びその他の業務システムにおける障害、あるいはそのようなシステムに収録されているセンシティブなデータに関する安全性、機密性又はプライバシーの維持の失敗
- ・ 伝染病、パンデミック、竜巻、ハリケーン、地震、津波、テロ行為を含む大惨事及びそれに付随して起こる被害
- ・ 米国及び(又は)日本の会計基準の変更
- ・ 主要な経営陣メンバーの後継者を効果的に選出する能力
- ・ 訴訟の内容及び結果
- ・ 年金及びその他退職給付プランに係る前提の変更による費用の増加と収益性の低下
- ・ 保険業界における継続的な変化
- ・ 当社の事業を離れた出来事によってもたらされる消費者からの信頼の喪失
- ・ 内部統制やコーポレート・ガバナンスのポリシー及び手続の失敗



FOR IMMEDIATE RELEASE

**Aflac Incorporated Announces Second Quarter Results,
Affirms 2016 Operating EPS and Sales Outlook,
Declares Third Quarter Cash Dividend**

COLUMBUS, Ga. – July 28, 2016 – Aflac Incorporated today reported its second quarter results.

Reflecting the stronger yen/dollar exchange rate, total revenues rose 2.8% to \$5.4 billion during the second quarter of 2016, compared with \$5.3 billion in the second quarter of 2015. Net earnings were \$548 million, or \$1.32 per diluted share, compared with \$573 million, or \$1.32 per share, a year ago.

Net earnings in the second quarter of 2016 included \$13 million, or \$.03 per diluted share, of after-tax net realized investment losses from securities transactions and impairments, compared with net after-tax gains of \$60 million, or \$.14 per diluted share, a year ago. Hedging costs related to certain dollar investments of Aflac Japan on an after-tax basis, were \$31 million in the quarter, or \$.08 per diluted share. Realized after-tax net investment losses from other derivative and hedging activities in the quarter were \$91 million, or \$.22 per diluted share. In addition, net earnings included an after-tax loss of \$24 million, or \$.06 per diluted share, from other and nonrecurring items.

Aflac believes that an analysis of operating earnings, a non-GAAP financial measure, is vitally important to an understanding of the company's underlying profitability drivers. Aflac defines operating earnings as the profits derived from operations, inclusive of interest cash flows associated with notes payable, but before realized investment gains and losses from securities transactions, impairments, and derivative and hedging activities, as well as other and nonrecurring items. Aflac's derivative activities are primarily used to hedge foreign exchange and interest rate risk in the company's investment portfolio as well as manage foreign exchange risk in certain notes payable and forecasted cash flows denominated in yen. Management uses operating earnings to evaluate the financial performance of Aflac's insurance operations because realized gains and losses from securities transactions, impairments, and derivative and hedging activities, as well as other and nonrecurring items, tend to be driven by general economic conditions and events or related to infrequent activities not directly associated with the company's insurance operations, and therefore may obscure the underlying fundamentals and trends in Aflac's insurance operations. Due to the unpredictable and uncontrollable nature of these reconciling items, the company does not calculate a GAAP equivalent of its forward-looking operating earnings guidance.

Furthermore, because a significant portion of Aflac's business is in Japan, where the functional currency is the yen, the company believes it is equally important to understand the impact on operating earnings from translating yen into dollars. Aflac Japan's yen-denominated income statement is translated from yen into dollars using an average exchange rate for the reporting period, and the balance sheet is translated using the exchange rate at the end of the period. However, except for certain transactions such as profit repatriation, settlements of reinsurance retrocessions, and the Aflac Japan dollar investment program, the company does not actually convert yen into dollars. As a result, Aflac views foreign currency translation as a financial reporting issue rather than an economic event for the company or its shareholders. Because changes in exchange rates distort the growth rates of operations, readers of Aflac's financial statements are also encouraged to evaluate financial performance excluding the impact of foreign currency translation. The chart toward the end of this release presents a comparison of selected income statement items with and without foreign currency changes to illustrate the effect of currency.

The average yen/dollar exchange rate in the second quarter of 2016 was 108.28, or 11.9% stronger than the average rate of 121.20 in the second quarter of 2015. For the first six months, the average exchange rate was 111.82, or 7.4% stronger than the rate of 120.14 a year ago. Aflac Japan's growth rates in dollar

terms for the second quarter and first six months were magnified as a result of the stronger yen/dollar exchange rate.

Operating earnings in the second quarter were \$707 million, compared with \$651 million in the second quarter of 2015. Operating earnings per diluted share in the quarter increased by 14.0% from a year ago to \$1.71. The stronger yen/dollar exchange rate increased operating earnings per diluted share by \$.09 for the second quarter. Excluding the impact from the stronger yen, operating earnings per diluted share increased 8.0%.

Results for the first six months of 2016 were also magnified by the stronger yen. Total revenues were up 3.6% to \$10.9 billion, compared with \$10.5 billion in the first half of 2015. Net earnings were \$1.3 billion, or \$3.06 per diluted share, compared with \$1.2 billion, or \$2.83 per diluted share, for the first six months of 2015. Operating earnings for the first half of 2016 were \$1.4 billion, or \$3.44 per diluted share, compared with \$1.3 billion, or \$3.04 per diluted share, in 2015. Excluding the positive impact of \$.12 per share from the stronger yen, operating earnings per diluted share increased 9.2% for the first six months of 2016.

Total investments and cash at the end of June 2016 were \$126.0 billion, compared with \$114.3 billion at March 31, 2016.

In the second quarter, Aflac repurchased \$400 million, or 5.9 million of its common shares. For the first half of the year, the company purchased \$1.0 billion, or 16.0 million of its common shares. At the end of June, the company had 32.3 million shares available for purchase under its share repurchase authorizations.

Shareholders' equity was \$22.6 billion, or \$54.98 per share, at June 30, 2016, compared with \$20.0 billion, or \$48.22 per share, at March 31, 2016. Shareholders' equity at the end of the second quarter included a net unrealized gain on investment securities and derivatives of \$6.4 billion, compared with a net unrealized gain of \$4.7 billion at the end of March 2016. The annualized return on average shareholders' equity in the second quarter was 10.3%. On an operating basis (excluding total net realized investment gains/losses in net earnings, unrealized investment gains/losses, and derivative gains/losses in shareholders' equity), the annualized return on average shareholders' equity was 18.0% for the second quarter of 2016, or 15.5%, excluding the impact of the yen on operating earnings.

AFLAC JAPAN

In yen terms, Aflac Japan's premium income increased 1.8% in the second quarter. Net investment income decreased 5.4%. Investment income was suppressed by the stronger yen/dollar exchange rate in translating dollars to yen. Total revenues were up .7% in the second quarter. The pretax operating profit margin declined to 20.7% from 21.1% a year ago. The pretax operating earnings in yen decreased 1.0% on a reported basis and increased 3.0% on a currency-neutral basis. For the first half of the year, premium income in yen increased 1.0%, and net investment income fell 3.6%. Total revenues in yen were up .2%, and pretax operating earnings declined .9%.

Aflac Japan's growth rates in dollar terms for the second quarter were magnified as a result of the significantly stronger yen/dollar exchange rate. Premium income increased 14.3% to \$3.4 billion in the second quarter. Net investment income was up 6.1% to \$642 million. Total revenues increased 12.9% to \$4.1 billion. Pretax operating earnings increased 10.8% to \$839 million. For the first six months, premium income was \$6.6 billion, or 8.7% higher than a year ago. Net investment income increased 3.8% to \$1.3 billion. Total revenues were up 7.9% to \$7.9 billion. Pretax operating earnings were \$1.7 billion, or 6.4% higher than a year ago.

In the second quarter, total new annualized premium sales decreased 1.1% to ¥30.3 billion, or \$280 million. Third sector sales, which include cancer and medical products, increased 11.2% in the quarter. Total first sector sales, which include products such as WAYS and child endowment, decreased 24.7% in the quarter.

For the first six months of the year, new annualized premium sales were up 6.7% to ¥61.4 billion, or \$551 million. Third sector sales increased 6.4% in the first half of the year.

AFLAC U.S.

Aflac U.S. premium income increased 2.2% to \$1.4 billion in the second quarter. Net investment income was up 4.4% to \$176 million. Total revenues increased 2.5% to \$1.5 billion. The pretax operating profit margin was 19.0%, compared with 19.5% a year ago. Pretax operating earnings were \$291 million, a decrease of .3% for the quarter. For the first six months, total revenues were up 2.4% to \$3.1 billion and premium income rose 2.2% to \$2.7 billion. Net investment income increased 4.7% to \$350 million. Pretax operating earnings were \$623 million, 8.0% higher than a year ago.

Aflac U.S. total new annualized premium sales increased 1.0% in the quarter to \$347 million. For the first half of the year, total new sales were up 2.3% to \$675 million.

DIVIDEND

The board of directors declared the third quarter cash dividend. The third quarter dividend of \$.41 per share is payable on September 1, 2016 to shareholders of record at the close of business on August 24, 2016.

OUTLOOK

Commenting on the company's second quarter results, Chairman and Chief Executive Officer Daniel P. Amos stated: "I am pleased that our second quarter financial results in both Japan and the United States reflected solid performance and advanced our progress toward achieving the company's objectives for 2016.

"In Japan, sales of our third sector products were particularly noteworthy, increasing 11.2% for the quarter. Recognizing the negative interest rate environment in Japan, we are encouraged that the actions we've been taking throughout the second quarter to limit sales of our first sector products are gaining traction, as first sector products sales decreased 24.7% in the quarter. As we continue to implement additional measures, we anticipate a sharp decline of at least 50% in first sector sales for the second half of the year. For the full year 2016, we continue to anticipate third sector sales will be in the range of down 3% to up 2%. I would reiterate that long-term, we continue to believe the compound annual growth rate for third sector sales will be in the range of 4% to 6%.

"From a financial perspective, Aflac U.S. also generated solid performance in the second quarter and for the first half of the year. Additionally, keep in mind that while sales in the second quarter were below our expectations, we anticipate the achievement of our annual U.S. sales target will be increasingly reliant on fourth quarter production. We continue to concentrate our efforts on increasing Aflac U.S. sales 3% to 5% for the year.

"We remain committed to maintaining strong capital ratios on behalf of our policyholders. We believe our capital strength positions us to repatriate in the range of ¥120 to ¥150 billion for the calendar year 2016. This reinforces our plan to repurchase about \$1.4 billion of our common stock in 2016, with the majority having been front-end loaded in the first half of the year.

"In the second half of the year, as we continue to focus on initiatives designed to drive future growth, our expectation is to increase spending, particularly related to promotional and IT expenditures. I want to reiterate that our annual objective is to produce operating earnings per diluted share of \$6.17 to \$6.41, assuming the 2015 average exchange rate of 120.99 yen to the dollar. If the yen averages ¥100 to ¥110 to the dollar for the third quarter, we would expect operating earnings, a non-GAAP measure, to be approximately \$1.58 to \$1.86 per diluted share in the third quarter. I would remind you that the low interest rate environment continues to be challenging for investments, especially with negative interest rates in Japan, making it difficult to invest cash flows at attractive yields while maintaining a prudent risk tolerance. We are well-positioned in the two best insurance markets in the world and are working very

hard to achieve our earnings-per-share objective while also ensuring we deliver on our promise to policyholders.”

ABOUT AFLAC

When a policyholder gets sick or hurt, Aflac pays cash benefits fast. For six decades, Aflac insurance policies have given policyholders the opportunity to focus on recovery, not financial stress. In the United States, Aflac is the leading provider of voluntary insurance at the worksite. Through its trailblazing One Day PaySM initiative, Aflac U.S. can receive, process, approve and disburse payment for eligible claims in one business day. In Japan, Aflac is the leading provider of medical and cancer insurance and insures one in four households. Aflac individual and group insurance products help provide protection to more than 50 million people worldwide. For 10 consecutive years, Aflac has been recognized by *Ethisphere* as one of the World's Most Ethical Companies. In 2016, *Fortune* magazine recognized Aflac as one of the 100 Best Companies to Work For in America for the 18th consecutive year and included Aflac on its list of Most Admired Companies for the 15th time, ranking the company No. 1 in innovation for the insurance, life and health category for the second consecutive year. In 2015, Aflac's contact centers were recognized by J.D. Power by providing “An Outstanding Customer Service Experience” for the Live Phone Channel. Aflac Incorporated is a Fortune 500 company listed on the New York Stock Exchange under the symbol AFL. To find out more about Aflac and One Day PaySM, visit aflac.com or espanol.aflac.com.

A copy of Aflac's Financial Analysts Briefing (FAB) supplement for the quarter can be found on the “Investors” page at aflac.com.

Aflac Incorporated will webcast its quarterly conference call via the “Investors” page of aflac.com at 9:00 a.m. (EDT) on Friday, July 29, 2016.

AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED INCOME STATEMENT

(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AND PER-SHARE AMOUNTS)

THREE MONTHS ENDED JUNE 30,	<u>2016</u>	<u>2015</u>	<u>% Change</u>
Total revenues	\$ 5,437	\$ 5,287	2.8%
Benefits and claims	3,254	2,937	10.8
Total acquisition and operating expenses	1,349	1,476	(8.5)
Earnings before income taxes	834	874	(4.7)
Income taxes	286	301	
Net earnings	\$ 548	\$ 573	(4.3)%
Net earnings per share – basic	\$ 1.33	\$ 1.33	–
Net earnings per share – diluted	1.32	1.32	–
Shares used to compute earnings per share (000):			
Basic	411,853	431,672	(4.6)%
Diluted	414,326	434,257	(4.6)
Dividends paid per share	\$.41	\$.39	5.1%

AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED INCOME STATEMENT

(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AND PER-SHARE AMOUNTS)

SIX MONTHS ENDED JUNE 30,	<u>2016</u>	<u>2015</u>	<u>% Change</u>
Total revenues	\$ 10,888	\$ 10,513	3.6%
Benefits and claims	6,279	5,889	6.6
Total acquisition and operating expenses	2,658	2,737	(2.9)
Earnings before income taxes	1,951	1,887	3.4
Income taxes	672	651	
Net earnings	\$ 1,279	\$ 1,236	3.5%
Net earnings per share – basic	\$ 3.08	\$ 2.84	8.5%
Net earnings per share – diluted	3.06	2.83	8.1
Shares used to compute earnings per share (000):			
Basic	415,301	434,473	(4.4)%
Diluted	417,623	437,077	(4.5)
Dividends paid per share	\$.82	\$.78	5.1 %

AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED BALANCE SHEET

(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AMOUNTS)

JUNE 30,	<u>2016</u>	<u>2015</u>	<u>% Change</u>
Assets:			
Total investments and cash	\$125,983	\$ 103,280	22.0%
Deferred policy acquisition costs	9,552	8,278	15.4
Other assets	5,752	3,981	44.5
Total assets	\$141,287	\$ 115,539	22.3%
Liabilities and shareholders' equity:			
Policy liabilities	\$103,066	\$ 84,581	21.9%
Notes payable	5,009	5,383	(6.9)
Other liabilities	10,662	8,557	24.6
Shareholders' equity	22,550	17,018	32.5
Total liabilities and shareholders' equity	\$141,287	\$ 115,539	22.3%
Shares outstanding at end of period (000)	410,115	430,617	(4.8)%

RECONCILIATION OF OPERATING EARNINGS TO NET EARNINGS
(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR PER-SHARE AMOUNTS)

THREE MONTHS ENDED JUNE 30,	<u>2016</u>	<u>2015</u>	<u>% Change</u>
Operating earnings	\$ 707	\$ 651	8.6%
Reconciling items, net of tax: [*]			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	(13)	60	
Hedge costs related to foreign currency investments	(31)	(12)	
Impact of other derivative/hedging activities	(91)	20	
Other and non-recurring income (loss)	(24)	(146)	
Net earnings	\$ 548	\$ 573	(4.3)%
Operating earnings per diluted share	\$ 1.71	\$ 1.50	14.0 %
Reconciling items, net of tax: [*]			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	(.03)	.14	
Hedge costs related to foreign currency investments	(.08)	(.03)	
Impact of other derivative/hedging activities	(.22)	.05	
Other and non-recurring income (loss)	(.06)	(.34)	
Net earnings per diluted share	\$ 1.32	\$ 1.32	–

^{*}Reconciling items are calculated net of a 35% tax rate.

RECONCILIATION OF OPERATING EARNINGS TO NET EARNINGS
(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR PER-SHARE AMOUNTS)

SIX MONTHS ENDED JUNE 30,	<u>2016</u>	<u>2015</u>	<u>% Change</u>
Operating earnings	\$ 1,433	\$ 1,329	7.8%
Reconciling items, net of tax: [*]			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	37	100	
Hedge costs related to foreign currency investments	(60)	(21)	
Impact of other derivative/hedging activities	(79)	(14)	
Other and non-recurring income (loss)	(52)	(158)	
Net earnings	\$ 1,279	\$ 1,236	3.5%
Operating earnings per diluted share	\$ 3.44	\$ 3.04	13.2%
Reconciling items, net of tax: [*]			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	.08	.23	
Hedge costs related to foreign currency investments	(.14)	(.05)	
Impact of other derivative/hedging activities	(.19)	(.03)	
Other and non-recurring income (loss)	(.13)	(.36)	
Net earnings per diluted share	\$ 3.06	\$ 2.83	8.1%

*Reconciling items are calculated net of a 35% tax rate.

EFFECT OF FOREIGN CURRENCY ON OPERATING RESULTS¹
(SELECTED PERCENTAGE CHANGES, UNAUDITED)

THREE MONTHS ENDED JUNE 30, 2016	<u>Including Currency Changes</u>	<u>Excluding Currency Changes</u> ²
Premium income	10.5%	2.0%
Net investment income	5.9	1.2
Total benefits and expenses	9.6	1.1
Operating earnings	8.6	3.1
Operating earnings per diluted share	14.0	8.0

¹ The numbers in this table are presented on an operating basis, as previously described.

² Amounts excluding currency changes were determined using the same yen/dollar exchange rate for the current period as the comparable period in the prior year.

EFFECT OF FOREIGN CURRENCY ON OPERATING RESULTS¹
(SELECTED PERCENTAGE CHANGES, UNAUDITED)

SIX MONTHS ENDED JUNE 30, 2016	<u>Including Currency Changes</u>	<u>Excluding Currency Changes</u> ²
Premium income	7.2%	1.8%
Net investment income	4.1	1.2
Total benefits and expenses	5.9	.6
Operating earnings	7.8	4.2
Operating earnings per diluted share	13.2	9.2

¹ The numbers in this table are presented on an operating basis, as previously described.

² Amounts excluding currency changes were determined using the same yen/dollar exchange rate for the current period as the comparable period in the prior year.

2016 OPERATING EARNINGS PER SHARE¹ SCENARIOS

<u>Average Exchange Rate</u>	<u>Annual Operating EPS</u>	<u>% Growth Over 2015</u>	<u>Yen Impact</u>
100	\$ 6.85 - 7.09	11.2 - 15.1%	\$.68
105	6.66 - 6.90	8.1 - 12.0	.49
110	6.49 - 6.73	5.4 - 9.3	.32
115	6.34 - 6.58	2.9 - 6.8	.17
120.99 ²	6.17 - 6.41	.2 - 4.1	-
125	6.07 - 6.31	(1.5) - 2.4	(.10)

¹ A non-GAAP measure

² Actual 2015 weighted-average exchange rate

FORWARD-LOOKING INFORMATION

The Private Securities Litigation Reform Act of 1995 provides a "safe harbor" to encourage companies to provide prospective information, so long as those informational statements are identified as forward-looking and are accompanied by meaningful cautionary statements identifying important factors that could cause actual results to differ materially from those included in the forward-looking statements. We desire to take advantage of these provisions. This document contains cautionary statements identifying important factors that could cause actual results to differ materially from those projected herein, and in any other statements made by company officials in communications with the financial community and contained in documents filed with the Securities and Exchange Commission (SEC).

Forward-looking statements are not based on historical information and relate to future operations, strategies, financial results or other developments. Furthermore, forward-looking information is subject to numerous assumptions, risks and uncertainties. In particular, statements containing words such as "expect," "anticipate," "believe," "goal," "objective," "may," "should," "estimate," "intends," "projects," "will," "assumes," "potential," "target" or similar words as well as specific projections of future results, generally qualify as forward-looking. Aflac undertakes no obligation to update such forward-looking statements. We caution readers that the following factors, in addition to other factors mentioned from time to time, could cause actual results to differ materially from those contemplated by the forward-looking statements: difficult conditions in global capital markets and the economy; governmental actions for the purpose of stabilizing the financial markets; defaults and credit downgrades of securities in our investment portfolio; exposure to significant interest rate risk; concentration of business in Japan; limited availability of acceptable yen-denominated investments; failure to comply with restrictions on patient privacy and information security; foreign currency fluctuations in the yen/dollar exchange rate; deviations in actual experience from pricing and reserving assumptions; subsidiaries' ability to pay dividends to Aflac Incorporated; ability to continue to develop and implement improvements in information technology systems; concentration of our investments in any particular single-issuer or sector; decline in creditworthiness of other financial institutions; ability to attract and retain qualified sales associates and employees; differing judgments applied to investment valuations; significant valuation judgments in determination of amount of impairments taken on our investments; credit and other risks associated with Aflac's investment in perpetual securities; decreases in our financial strength or debt ratings; inherent limitations to risk management policies and procedures; extensive regulation and changes in law or regulation by governmental authorities; interruption in telecommunication, information technology and other operational systems, or a failure to maintain the security, confidentiality or privacy of sensitive data residing on such systems; catastrophic events including, but not necessarily limited to, epidemics, pandemics, tornadoes, hurricanes, earthquakes, tsunamis, acts of terrorism and damage incidental to such events; changes in U.S. and/or Japanese accounting standards; ability to effectively manage key executive succession; level and outcome of litigation; increased expenses and reduced profitability resulting from changes in assumptions for pension and other postretirement benefit plans; ongoing changes in our industry; loss of consumer trust resulting from events external to our operations; failure of internal controls or corporate governance policies and procedures.

Analyst and investor contact – Robin Y. Wilkey, 706.596.3264 or 800.235.2667; FAX: 706.324.6330 or rwilkey@aflac.com
Media contact – Catherine Blades, 706.596.3014; FAX: 706.320.2288 or cblades@aflac.com

###